

第63回 社会を明るくする運動

～広げよう！ 支え見守る地域の輪～



▲ 新湊大橋をバックに記念撮影

射水更生保護

発行・編集

射水保護司会

会長 米澤 治夫

TEL 0766-52-4321

〒934-8555

射水市本町2丁目10番30号

射水市福祉保健部 社会福祉課内

海王丸パークで街宣活動

「立ち直りを見守り、支える社会に」

「社会を明るくする運動」の強調月間中の七月十五日(月)海の日、さまざまなイベントで賑わう射水市海王丸パークを会場に、犯罪や非行のない明るい社会と、不幸にして罪を犯した人の更生保護、薬物乱用防止などの街頭広報活動を繰り広げました。

「社会を明るくする運動」は、犯罪や非行の防止と罪を犯した人たちの更生について理解を深め、それぞれの立場において力を合わせ、犯罪や非行のない地域社会を築こうとする全国的な運動で、今年で六十三回目を迎えます。射水保護司会では、例年「海の日」を、海王丸パークで街頭宣伝活動を行なってきました。

七月十五日(月)総帆展帆をはじめさまざまなイベントが開催された海王丸パークは、猛暑の中多くの人で賑わっていました。

八木富山保護観察所長、射水市役所福祉課から三名の応援をいただき、更生保護女性会員、保護司と一緒にイベント広場や駐車場等で街宣活動を繰り広げました。



▲ 笑顔で声かけ

『更生保護サポートセンター射水』

〒939-0234 射水市二口1081番地

射水市役所大門庁舎 車庫棟 2 階

電話：0766(52)7696

FAX：0766(52)7697

E-mail：imizuhogoshikai@gmail.com

ホームページURL：hogosi.com

月曜日から金曜日

午前 9 時30分～午後 3 時30分まで企画調整保護司が交代で常駐しています。

厳粛に市長への
メッセージ伝達

▼ 高橋市議会議長(中央)と
津田副議長(左2人目)
伝達後は和やかに



七月一日、夏の香りが「第六十三回社会を明るくする運動」の始まりを告げました。今年も法務大臣及び富山県知事よりのメッセージ伝達式が行なわれました。射水市小杉庁舎市長室において、米澤会長、五十嵐副会長、川口副会長、高松事務局長が立会のもと、会長が声高らかにメッセージを読み上げ、式は厳粛に行なわれました。その後新湊庁舎において、射水市議会高橋久和議長、津田信人副議長にも同様のメッセージを伝達しました。一同この運動の意義及び主旨に賛同し、改めて更生保護の役割の重大さを感じました。本年度は特に、「就労、住居等生活の基盤づくり」につながる取り組みの推進に努めます。

法務大臣・知事メッセージ伝達

七月一日から一ヶ月間、全国的な展開として、「第六十三回、社会を明るくする運動」が行われる。今年も五月二十八日、射水市中央図書館で、射水市内二十三の構成機関及び団体で成る実施委員会が開催された。実施委員長、夏野元志射水市長、主唱者、富山保護観察所八木真一所長より挨拶があり、議事に入り平成二十四年度実施結果の報告、次に平成二十五年度社会を明るくする運動実施要項(案)計画(案)が審議された。昨年の素晴らしい実績の上に更なる成果を上げるよう、全員心も新たに閉会した。



▲ 射水市推進委員会での夏野市長

第六十三回 社会を明るくする運動

犯罪や非行を防ぎ、立ち直りを支える地域のチカラ

第三十二回 射水市中学生

生活体験発表大会開催



県大会代表に
石黒美帆さん(射北中)
「今と未来」選ば
れる。

五月二十三日(木)、第三十二回射水市中学生生活体験発表大会が射水市立新湊南部中学校体育館で開催されました。

同中学校生徒会の司会により、五十嵐繁久射水保護司会副会長の開会のことば、星野正義射水市中学校校長会長の激励のことば、発表上の注意のあと、事前に抽選により決められた順に従い、市内六校の代表が持ち時間五分間に、それぞれの体験の中で学び感じた事を発表しました。

審査委員長の亀田重幸射水市教育委員会教育次長、副委員長の川口和香子射水保護司会副会長、審査員の熊谷正克保護司・新中孝子保護司・室谷清一保護司により、厳正な審査が行われました。亀田審査委員長から、「身近なこと、社会体験、人としての生き方の基本的なこと等を的確に主張していた。優秀つけがたい。(以下略)」と講評、続いて審査結果の発表がありました。県大会市代表には「今と未来」と題して「生まれつき心臓病を抱えジェットコースターにも乗れない自分が嫌や。

発表者及び演題(発表順、敬称略)

学校名	学年	発表者氏名	演題
射北	3年	石黒美帆	今と未来
小杉	3年	荒谷翔吾	食と命の大切さ
小杉南	2年	関根遥葵	忘れられない言葉
大門	2年	古岡和香奈	感謝の気持と夢への希望
新湊南部	3年	宮本洋佑	優しさの和を広げよう
新湊	2年	加門麻帆	命の尊さ

そんな自分を家族や友達がいやって接してくれた。今度は自分が障害を持つ人に思いやりを持って接したいと思うようになった。将来特別支援教室の先生になることが夢となり、前向きに生活するようになった。」と発表した射北中学校(三年)の石黒美帆さんが選ばれました。

石黒さんは、射水市代表として七月六日(土)、ポルファートとやまで開催された、第五十一回富山県中学生生活体験発表大会に出場され、富山テレビ放送社長賞を受賞しました。

公開研修会「薬物について」

本年市内ライオンズクラブと共催し薬物乱用防止教育事業を市内小学校で実施することになりました。その事業に寄せ、公開講座研修会を開催し市内の市民各位や更生保護関係団体の皆様方に広く呼びかけながら更生保護や薬物乱用防止の活動にご理解ご協力を進めるため「薬物について」公開研修を開催しました。



七月二日小杉社会福祉会館で、富山県高岡厚生センター射水支所衛生予防課主任専門員 小泉泰久氏が「薬物について」と題して、薬物の種類、薬物乱用の実害、脱法(合法)ドラッグ(またはハーブ)と呼ばれるものの成分に違法薬物化学的に酷似している物が含まれること、一度でも依存性や異常が生じる危険なものであること、違法薬物の摘発に関わった折の体験談など、わかりやすくお話を聞かせてもらいました。

◎厚生労働省薬物乱用防止に関する情報
http://www.mhlw.go.jp/seisakunitsuite/bunya/kenkou_inyou/yakuhin/yakubuturanou/index.html

「更生保護&薬物乱用防止」パネル展

刑の一部執行猶予制度が導入されると犯罪をした人の立ち直りのための社会内での取り組み(社会内処遇)がより一層大切になります。罪を犯した人たちの立ち直りを支える保護司の活動や地域の役割、薬物乱用の恐ろしさを三十枚のパネルにし、次の日程で市内巡回展を行いました。

○五月二十一日(火)～六月十一(火)
高周波文化ホール(新湊中央文化会館)
○六月二十五日(火)～七月二日(火)
射水市役所小杉庁舎 南玄閣
○七月九日(火)～七月十六日(火)
射水市役所大島庁舎
○七月十六日(火)～七月三十日(火)
射水市役所大門庁舎

▲高周波文化ホール



▲小杉庁舎

薬物乱用教室開催

■小学校で違法薬物の怖さ伝える



薬物は世界の国々で深刻な社会問題となっています。わたしたちの日本でも例外ではありません。薬物の汚染は私たちの身近にせまってきたいます。国内では小中学生が薬物を手にするケースも出てきております。薬物乱用を防止するためには、薬物の恐ろしさを正しく理解し、薬物に関する正しい知識を身につけることが大切です。

少年の薬物事犯者からは、「もし手をだす前に薬物の怖さを知っていたら」、「もし最初の一回に手を出さなければこんなことには…」といった後悔の言葉も出ています。

薬物乱用は絶対に許さないという意識の高揚を図るとともに、薬物を勧められた時に断る勇気の大切さや、自身自身を大切にすることが大切だと思っております。

今年度から市内小学校の六年生を対象に開催する薬物乱用防止教室を、射水市内三ライオンズクラブと射水保護司会が協同で開催するため、協議と準備を重ねて来しました。

まず、七月十七日に射水市新湊小学校で特別教室が開催されました。新湊ライオンズクラブの会員で薬物乱用防止認定講師の加門さんが、六年生四十九人に覚せい剤や脱法(合法)ハーブなど薬物の種類を説明、薬物の影響や依存症についてスクリーンを使ってその危険性を話しました。

密売人が「やせ薬」、「元気が出る」などと偽って誘ってくることもあると紹介し、たとえ友人・知人に誘われても断る勇気を持つよう、と注意を呼びかけ、児童が「薬物はダメ。ゼッタイ。」と三唱し閉会となりました。



射水市内の小学六年生対象にした薬物乱用防止教室は順次開催予定です。



射水市更生保護女性会だより

定期総会開催

四月二十七日(土)、午後一時三十分より射水市大門庁舎にて、夏野市長様米澤保護司会会長様はじめ来賓の方々をお迎えして総会を開催いたしました。式次第に沿って議事も滞りなく進出し全てが承認されました。

その後、『共に生きる』と題して富山保護観察所長 八木真一氏より講演していただき青少年の心に寄り添って共に生きることの大切さを学びました。そして、改めて悲しみや苦しみに寄り添い共に分かち合いその思いをしっかりと心に留めて活動していきたいものだと思いました。



▲ あいさつする道古正子会長



▲ 八木真一富山保護観察所長

会長として開会の挨拶の中で「更生保護サポートセンター射水」が開設されて頂き、運営面についても相談にのって頂くなど更女の活動の拠点が出来た事は本当に有り難く思っています。

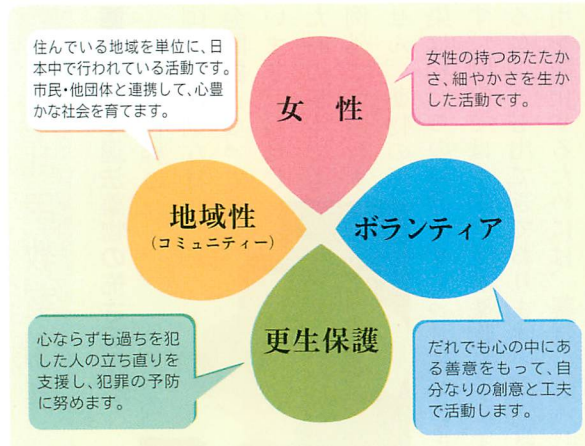
会員の皆さんにもこの事をお知らせするために今年度は広報を発行したいと述べました。最後に、ボランティアも何もかも最初から気張りすぎると長続きしません。気軽に地域の頼れるお母さん、おばあちゃんになってフワッと楽しんで女性のもつ優しさ・暖かさ・きめ細かさを生かして今年も皆さんと一緒に明るい社会づくりを目指していきましようと呼びかけました。

● 更生保護女性会とは

犯罪や非行のない明るい地域社会の実現に寄与することを目的として、地域の犯罪予防と犯罪をした人や非行のある少年の更生支援活動を行うボランティア団体です。全国に千三百の地区会があり、約十八万五千人の会員が活躍しています。

● 更生保護女性会のなりたち

更生保護女性会のルーツは、明治十六年に大阪のひとりの女性が、行くあてのない子供たちを自宅に預かり、母親のように養ったことがきっかけと言われています。その後、非行のある子どもたちに母性で慈しむをもって救おうと、全国各地団体が形成され、更生保護女性会は六十一年以上にわたり活動を続けています。



平成二十五年 度事業計画

4月11日	市更生保護女性会理事会
18日	市更生保護女性会 (総会資料作成)
23日	保護司会総会
24日	県更生保護女性連盟理事会
27日	市更生保護女性会総会
5月5日	富山養得園給食活動(小杉)
23日	市中学生生活体験発表大会
28日	第54回 県更生保護女性連盟総会
6月9日	富山養得園へ給食活動 (大島・下)
18日	第50回 日本更生保護女性の集い
30日	富山県更生保護フェア in小矢部
7月6日	中学生生活体験発表大会
10月11日	市更生保護女性会研修の旅
15日	第63回社会を明るくする運動 海王丸パーク街宣活動
28日	富山養得園給食活動(大門)
9月18日	県更生保護女性連盟理事会
27日	中部地方更生保護女性の集
10月1日	共同募金協力活動
10日	第8回射水市社会福祉大会
下旬	市更生保護女性会研修会
11月14日	第48回富山県更生保護大会
下旬	県更生保護女性連盟会員研修

富山養得園給食活動を終えて

六月九日は大島地区・下地区の給食活動当番日。養得園入所者（二十代、六十代）の皆さんが喜んで食べてもらえる献立を皆で事前に考え、大島地区はコミュニティセンターの調理室を借りました。

担当月が二月のときは自家栽培の冬野菜をふんだんに使った献立ですが、六月上旬は夏野菜の収穫には少し早くスーパーでの食材調達となりました。その分、肉と魚そしてフルーツ等で愛情いっぱい献立となりました。

日頃の主婦業で培った料理の腕を発揮しようと、各家庭の野菜の切り方や味付け等を工夫しながらの調理の時間は、会員同士の大切なコミュニケーションの場となっています。

季節がら食中毒の心配やら配膳後の料理管理に気を使いましたが、県更生保護女性会もその点を気遣ってか本年度より、食材調達場所等の報告書提出と調理終了後の点検表チェックがあり、衛生管理の確認項目が多数有り調理時調理後の衛生管理には十分なチェックが必要と認識しました。

入所者の皆さんにこの家庭料理を味わってもらい、一日も早い社会復帰を願ってやみません。

更生保護女性会の養得園給食活動の必要性と、この事業を継続していく意義を今一度確認出来た活動日でした。

季節感と家庭の味を



私たち射水市更生保護女性会の活動のひとつに、富山養得園への給食活動があります。今年、小杉地区は一月と五月の二回行いました。大体十四、十五人の園生の夕食を五、六人のメンバーで準備いたします。

事前にメンバーが集まり、メニューを決めます。限られた予算の中で季節ごとの旬の野菜を使った手料理を心がけ主菜・副菜とささやかでもデザートも準備します。一月には新しい年を迎える喜びを感じて欲しい。五月は、さわやかな緑の季節、希望を持って頑張っ

てほしい。
私たちは、久しぶりに会う知人や帰省した子どもに接するように『オッうまそう!』と思って食べて欲しいと気

持ちを込めて作ります。真心の家庭料理により心が和み、元気が出て、少しでも自立更生への応援となればうれしいのです。挨拶に来てくれた少し緊張気味の青年から「美味しいです。楽しみに待っています。ありがとうございます。」のことがばを受け、私たちの方が感激し、活動する喜びを実感します。帰り道は、満足の笑顔の私たちです。

射水市更生保護女性会研修の旅

平成二十五年度の研修は七月十日（水）～十一日（木）に九十名で実施しました。

一日目は、五棟の歴史的建造物が移築されている「松本市歴史の里」を訪ねました。旧松本少年刑務所独居舎房は昭和二十八年に建てられ、青少年受刑者及び未決拘禁者を収容するために、平成二年まで使用されていました。就

学環境が悪く、義務教育も受けられなかった少年達に、日本で唯一の、また世界的にも例のない刑務所内の公立中学校で、更生の道を歩ませ、自分の将来に明るい展望を持たせました。

また、旧長野地方裁判所松本支部庁舎は、内部・外部ともに完全な形で国内に唯一残る、明治憲法下の和風裁判所



の庁舎と正門、レンガ塀は威厳があり、当時を垣間見る感がありました。
研修後、東京へ向かい、歌舞伎座柿葦落「東海道四谷怪談」（市川染五郎・尾上菊之介出演）を観劇しました。

二日目は、鎌倉を散策（建長寺・鶴岡八幡宮・長谷観音）して帰路につきました。

例年通りの朝早く出発し、夜遅く帰宅するスケジュールでしたが、共に学び、共に楽しみ、今後の活動に結びつく絆を強めることができた良い研修旅行であったと思っています。



定期総会開催

平成二十五年度射水保護司会定期総会が四月二十三日、射水市小杉社会福祉会館で開催されました。八木真一富山保護観察所長、夏野元志射水市長、高橋久和射水市議会議長、中島稔射水警察署長、社会福祉協議会、市関係部課長、同更生保護女性会、中学校校長会、名誉保護司等多数のご臨席を賜りました。

はじめに米澤会長が、これまでの活動を踏まえ、さらに地域に根ざした幅広い活動を推進していくこと、今年度から射水市内三つのライオンズクラブによる市内小学校での薬物乱用防止教室が実施され、射水保護司会がバックアップしていくため会員各位の協力を、と挨拶しました。

来賓の祝辞及び紹介後、議長に室田清一保護司を選び、平成二十四年度事業報告及び決算、平成二十五年度事業計画(案)及び収支予算書が審議された。全ての議事を承認し、総会は滞りなく無事終了しました。

会場には、今年度新たに市内巡回展を実施する「更生保護と薬物乱用防止パネル」が展示されました。



米澤会長の受章祝う



春の叙勲で、瑞宝双光章を受章された米澤治夫氏射水保護司会長の受賞記念祝賀会が八月十八日、第一イン新湊孔雀の間で開かれ、約百五十名が祝福しました。

米澤氏は、二十七年の長きにわたり保護司として更生保護活動に尽力されました。発起人代表の五十嵐射水保護司会副会長があいさつし、夏野元志市長、高橋久和市長、永森直人県会議員、八木真一富山保護観察所長、炭谷一彦前富山県保護司会連合会長が祝辞を述べられ、射水地区更生保護協力雇用主会長山本修氏の発声で乾杯しました。

米澤会長は、良子夫人とともに孫の米澤咲良さん、米澤美月さん、中村千穂さんから花束を受け取り、「明るい社会の実現のため、今後も努力を重ねていきたい」と、謝辞をのべました。

「更生保護サポートセンター射水」だより

高橋 禮子

『光陰矢のごとし』とか『月日は流るる水の如し』とか言われるように、本年も早いものであつと言う間に半年の月日が過ぎ去りました。

保護司各位には、お変わりなくお過ごしのことと思います。振り返ればいろいろな事があつたと思いますが、これもみな生きておればこそ証しだと思います。人生を通して、それぞれの持ち場、立場の中で、その人とともに輝き続けるとすれば、それこそどのような思い出も与えられたかけがえのない宝と言わねばなりません。わたくしは常に「その時、その場の心に生きる」ということを信条としております。

さて私たち十二名が企画調整保護司の命を受け、当サポートセンターが開所して一年を迎えようとしております。お互いが交代で常駐しており、明るい地域づくりの拠点を目指して、保護司が行う処遇活動への支援、地域住民を対象とした非行相談などの開催、あるいは、地域への更生保護活動に関する情報発信等の活動、更生保護女性会の定例会、保護司会の理事会、対象者との面談、富山保護観察所から主任官が出張され定期面談など活用してまいりました。

さる七月二十三日に第二回の企画調整保護司会議が開催され、一年間を振り返り意見交換をしました。それぞれ

の立場で、駐在当番の日程調整を図り、来るべき年に結び付けようと、更生保護女性会のミニ集会に活用してはどうだろうか、また各保護司の方々に足を運んでいただいて共通理解を求め、という意見もありました。距離的な問題もあるが社会貢献活動の情報提供、明年には、企画調整保護司の声を配慮してより多くの方々にサポートセンターを活用して頂けるように。さらには協力会員の方々にも働きかけることも必要ではないかと。

終わりに今年度で一番印象に残るのは、市内小学校に対して「薬物乱用防止教室」開催に向け、市教育委員会と市内三つのライオンズクラブと連携を密にし、日程調整を図り、第一回新湊小学校から実施に踏み切ったこと、月刊広報誌を発送できたこと等印象深く感じ、サポートセンターから犯罪予防活動等、多彩な活動の場として展開され明るい射水市を望むものです。



▶ ホワイトボードが行事や連絡事項で埋まっています

● 部会だより ●

◇総務部会

理事会の議事打合せ・資料作成。

◇研修部会

七月二日の「公開研修会」は、御苦勞様でした。沢山の皆様に御参加を賜り感謝申し上げます。「薬物乱用防止強固事業」の広報パネル展に引き続き第二弾として、「富山県厚生センターの小泉専門官」に講演をお願いいたしました。

薬物の種類や乱用の現況、恐ろしさをしつかりお話しいただき、とても勉強になったことと思います。

私達「保護司」は「薬物乱用者」を実際に担当し、更生してもらう仕事を「社会の最前線」で担っておりま。今後も一つ一つの研修会を企画実践していきたいと思っております。皆さんの御意見にしっかりと耳を傾けて研修事業を進めて行きます。今後とも御指導をお願い申し上げます。

尚、「更生保護と薬物乱用防止パネル展」は長期にわたり、保護司各位に御尽力を賜り感謝申し上げます。

今後の研修予定は次のとおりです。

8月27日 定例研修会(家族調整について) 自主研修会

10月22日・23日

県外視察研修(厚生労働省 東海北陸支部麻薬取締部)

11月19日 定例研修会(処遇プログラム概要について) 自主研修会

主研修会

2月4日・5日

定例研修会(事例研究について) 自主研修会

◇学校部会

◎第32回射水市中学生生活体験発表大会を開催

五月二十一日、新湊南部中学校で県大会の予選を兼ねて開催。各中学校には、ご協力をいただきありがとうございました。

◎第51回富山県中学生生活体験発表大会に参加

七月六日、ボルファート富山で開催。「今と未来」と題して発表した射水市代表の石黒美帆さん(射北中三年)が富山テレビ放送社長賞を受賞しました。

◎社会を明るくする運動

「射水市作品コンテスト」を実施

・6～7月 小中学生対象に作品募集

・8月8日 審査会(作 文)

・8月9日 審査会(ポスター、標語)

・10月 発表会・表彰式

◇広報部会

◎「更生保護と薬物乱用防止市内巡回パネル展」の4会場搬入・搬出

◎8月末日 広報15号発行

射水保護司会ホームページアドレスはnogosi.comです。他に、ツイッ

ター(@imizuhogoshikai)でも行事予定や、できごと等を発信しています。

◇地域活動部会

七月十五日、海王丸パークでの「社会を明るくする運動」街宣活動にご協力ありがとうございました。

当部会は、従来は「社会を明るくする運動」を実施する中で保護司及び保護司会活動を報告することが多かったと思われます。しかし、昔と今では形態が少し模様替えしたという気がします。保護司としての活動をどこまですべきなのか、また、何が求められているのか、などについての認知が進みつつあると強く感じています。

例えば薬物乱用防止推進において、地域のライオンズクラブと共同で保護司が市内小学校高学年を対象に講演を実施する(十三校)計画となっております。このような、実質的な連携、行動連携が図られるようになったのも、保護司会として認知されているからだと思えます。大きな進歩であり、保護司や保護司会への地域社会の認知が進んでいる証だと思えます。

また、サポートセンターに企画調整保護司が常駐し、関係団体との連携、調整においてもこれまでと違ふことが非常に大きいです。さて現在、保護司候補者検討協議

会が設置されています。保護司はどのようにして選べ、誰が推薦しているのかと聞かれた時、透明で、公正な手続きで選任されていると答えられるようにすること、地域の様々な組織の方に保護司適任者の情報を提供していただくことを目的として定められました。保護司候補者検討協議会の設置により、より広範的に情報を得る工夫がされたことに大きな希望を持っています。

◇協力組織部会

6月28日 射水地区更生保護協力雇用主会総会

7月25日 射水市更生事業協会総会

7月17日 射水市新湊小学校で新湊ライオンズクラブ主催「薬物乱用防止教室」に協力



▲ 更生保護事業協力会総会であいさつする夏野元志射水市長

月2日 身下町夏休館入会定其

射水保護司会会長 米澤 治夫

平成25年3月9日
北
寸
外
雄

A circular portrait of a woman with short, dark, curly hair and glasses. She is wearing a white collared shirt. The background is a warm, brownish-gold color. The portrait is set against a light blue background.

初めての保護観察は交通事件でした。主任官と連絡を取りながら、交通規則に基づいてテキストに従って対象者と話し合い、感想を書いてもらったたりして、終了しました。

交野女子学院へ薬物事件対象者を訪ねて本人と初対面の言葉を交わし、その後の文通で仮釈放に向かって心の交流を図りました。いよいよ保護観察に移り、服飾関係の稼業を手伝う本人だけでなく、母親とも文通を交えて交流しました。その後結婚して、子どもにも恵まれ幸せに暮らしています。

アルコール依存症の対象者を担当した時には、幻覚症状で眠れないと夜半に来訪し、明け方までともに話をしながら精神の安定を心がけたこともありました。断酒会に共に出席して本人の自覚を促したりしながら保護観察を終了しました。

福井刑務所出所者の対象者の保護観察では、刑務所内で知り合い先に出所

していた神戸の人が、何度も電話してきて対象者宅へ押しかけて来そうになり、警察へ連絡して対処方法を教わり、万一の場合に備えたこともありました。対象者の処遇はその時々に見せる「意志の弱さ・脆さ」を受け止めて、大きな後ろ盾となつて、力づけなければならぬことがままあります。どうぞ対象者ひとりひとりの人生のために、皆様の「ご奮闘」をお願いします。

今年度の新事業として「更生保護＆薬物乱用防止」パネル市内巡回展、市内ライオンズクラブが順次開催する小学校「薬物乱用防止教室」への協力を実施しています。広報誌では、今回から「射水市更生保護女性会だより」のページを女性会が担当。今後活動内容などを紹介して頂きます。従来からの地道な活動に加えて、サポーターを核に新たな人のつながりが広がっています。